

萩ジオパーク推協だより

2018年2月28日 No. 36

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行 : 萩ジオパーク構想推進協議会
事務局 : 萩市ジオパーク推進課
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

「維新とマグマの胎動の地」・萩ジオパークを目指して

先日、皆様のお手元に「萩ジオパーク構想基本計画・実行計画」の概要をお知らせするダイジェスト版をお届けしましたが、ご覧いただけましたでしょうか。

私たちが生活する萩市と阿武町、山口市阿東地域は、大地と人が共に歩んだ歴史を体感できる「維新とマグマの胎動の地」。萩ジオパーク構想では、こうした大地と人の物語を紐解くことを通じて、改めて地域らしさの中に秘められた大地と人とのつながりを理解し、それが“見える”・“伝わる”まちを目指してまいります。

去る12月22日(土)に日本ジオパーク委員会が開催され、日本ジオパークネットワークの正会員として認定されている地域の再認定について審議が行われました。その中で、過去に条件付き再認定(イエローカード)とされた1地域が、指摘事項が改善されていないとして認定取り消し(レッドカード)になりました。ジオパークとしてあるべき姿を踏まえた改革が全国で進められていますが、本協議会の基本計画・実行計画はこうした動向を踏まえたものです。

この度、本協議会の事務局長として中村正弘さんを迎え、皆様とともに基本計画・実行計画を実現していく体制を強化しましたので、引き続きよろしくお願いたします。

事務局に着任しました。よろしくお願いいたします。

皆様、こんにちは。2月1日付けで出向先から萩市に帰り、萩市ジオパーク推進課・萩ジオパーク構想推進協議会事務局に着任いたしました。大地や海の恵みを堪能するだけでなく、微力ではありますが、萩のジオパーク構想が前進していくよう心を尽くしてまいりますので、皆様方のお力添えをお願いいたします。

萩市ジオパーク推進課 課長 中村正弘

「お知らせ、萩ジオパーク構想推進協議会臨時総会 3月26日(月) 13:30~14:30 会場:市役所大会議室
内容:日本ジオパークネットワーク正会員加盟申請書ほか協議 主催:萩ジオパーク構想推進協議会
問合せ:萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)

萩・美祢共同企画 「長州路おもてなし清掃物語」 参加者を募集します!

萩市と美祢市が共同で、多くの観光客の皆様へのおもてなしの心をこめた景観美化・清掃活動を、下記のとおり予定しています。両市ともジオパーク活動を行っており、「ぜひ一緒に」と本協議会へも参加の要請がありました。

つきましては、お手伝いいただける方を募集いたしますので、ご協力をお願いいたします。

- 日 時:平成30年4月8日(日)午前中 ※雨天中止
- 清掃場所:十文字IC、絵堂IC付近など
- 内 容:IC付近にあるポイ捨てゴミを清掃
- 参加方法:ご参加いただける方は、3月23日(金)までに、推進協議会事務局にお申し出ください。

・集合時刻等、詳細につきましては、参加の申し出をいただいた方に後日連絡いたします。

萩ジオプランナー養成講座

2/3(土)～4(日)

2月3～4日の2日間で、萩ジオマスターに認定された方を対象に、萩の大地と人のつながりを楽しませる企画人「萩ジオプランナー」を養成する講座を開催しました。

3日(土)は、自然体験などのガイド活動をされている菊間 彰氏(一般社団法人をかしや)を講師にお招きし、伝わるガイド技術についての研修をしました。笠山や城下町を舞台に、五感を使った“体験”を通してメッセージを伝えるという新しいガイド手法を体験しました。“話す”だけではなく、“体験”を手段として使うことの大切さを身をもって知ることができました。

4日(日)は、萩ジオパーク構想の戦略顧問でもある徳山大学の柚洞 中央准教授をお迎えし、世界や日本のジオパークの様々な取り組みや、ジオパークが目指す世界についての講演をしていただきました。萩以外の活動に触れる機会がまだあまりない中で、色々な地域の話聞くことができ、大変刺激になりました。講演後には、萩の城下町、魚、農作物、萩焼が、どのような地形・地質とどう関係しているのかを考えるグループワークをしました。

現在は「大地と人のつながり」を楽しむジオツアーを、受講者のみなさんと企画しています。3月3日(土)、11日(日)にはモニターツアーを実施する予定です。今までにない新しい萩をお見せします。興味のある方はふるってご参加ください。



(五感を使った研修の様子)



(世界や日本の事例の紹介)

萩ジオパーク構想モニターツアー「萩城下町は “3” から始まった?！」

2018年3月3日(土)、11日(日) 13:00～16:00

集合・解散: 萩・明倫学舎 参加費: 無料 定員: 20名(先着、申込みは事務局へ)

【報告】 中四国近畿ブロックジオパークネットワーク研修会に参加して 2/21(火)～22(木)

2月20日(火)～22日(木)の3日間、愛媛県西予市の四国西予ジオパーク(以下、「西予GP」)において、中四国近畿のJGN加盟ジオパークが一堂に会した研修会が行われました。萩市からは事務局から私、中村と白井孝明専門員、ガイドの齋藤みよ子さんの3名が参加しました。

西予GPは、2013年にJGN正会員となり、昨年の2017年が再審査。見事再認定をもらったGPです。車で片道7時間の長旅でしたが、協議会挙げての歓迎と最高のおもてなしでたくさんの方の元気をいただきました。

研修2日目は港町の狩浜集落からスタート。ミカンの段々畑のロケーションの迫りに圧倒されました。急勾配の斜面に見渡す限りの段々畑。そこにミカンの木がびっしりと植えられ、石灰岩の石積みで人間の築き上げてきた歴史と力強さを感じさせました。ここでは3つの太陽(太陽、海、石灰岩)がおいしいミカンを作ることを教えてもらいました。藩政時代に石高の少ない宇和島藩に暮らす人々の努力の結晶が、戦後のミカン栽培の一大産地として受け継がれ、大地に生きる人々の知恵と力を感じました。



(参加者全員集合)



(圧倒される段々畑)

午後は、山間部のジオサイト穴神鍾乳洞へ。この洞は、私たちの身近にある美祢の秋芳洞に比べると小さいですが、化石等からわかる形成年代の違い、そこに暮らす昆虫やコウモリを間近に見ることができる独特の生態系。また、縄文人が暮らした痕跡があり、人間との関わりも深い魅力的なジオサイトでした。洞窟ならではの暗闇を活かした体験アクティビティや生態保全の取り組みなどを盛り込むとっと魅力的なものになると思いました。

3日目は、事務局・専門員・ガイドの分科会と全体会がありました。事務局部会では、①2日目のガイドツアーについての意見交換 ②各地の取り組みの報告 ③今後のブロック活動 について協議しました。①のガイドツアーについては、西予GPが伝えたいジオストーリーが見えないために、ただの観光ガイドになっていることが指摘されました。GP全体の中で、それぞれのサイトの意味と役割があること、そしてガイドさんがそれを認識して伝えること、それができるとより深みのあるガイドになると思いました。②の各地の取り組みでは、萩ジオマスター講座と現在進行中のジオプランナー養成講座の報告をしました。他のGPでの面白い、先進的な事業も聞くことができました。③の今後の活動については、研修会の継続を確認し、来年度の開催地：Mine 秋吉台ジオパークが決定しました。

最後に、今回の研修会に出席して、どこのGPも地域の魅力向上にあらゆる人が参画し、素晴らしい取り組みを試しながら展開されていることを知りました。また、準備地域の萩のこれまでの活動や取り組みは、他のGPに決してひけを取らないことをしていることを実感できたことは、自分にとっても大きな自信となりました。来年度の認定に向けて、この経験は大きかったと思います。



(鍾乳洞内での研修)



(分科会での研修)

(報告：事務局員 中村浩二)

ジオ・カメラ散歩

当協議会会員の「NPO あとう」主催で、2月25日(日)に開催された「古徳佐湖探検ツアー」。徳佐盆地はかつて湖でした。その名残といえる「ハンノキ」「サクラバハンノキ」を訪ねました。樹形も美しいですが、緑もきれいとのこと。



萩市笠山虎ヶ崎から海を見ると、海士の漁船が。笠山の流した溶岩の上で何を獲っているのでしょうか。

★みなさまからのとっておきの写真を、お待ちしております。
(送り先) e-mail: geo@hagi.lg.jp

【報告】第11回日本ジオパークネットワーク(JGN) 全国研修会に参加

2/1(木)~2(金)

ESDとは「持続的可能な開発のための教育」(Education for Sustainable development)の略で、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育として、ユネスコが中心となり取り組んでいます。今回の研修会では、今年度のJGN事業の報告とともに、日本ジオパークにおける今後の10年に向けたジオパーク教育・学習のあり方を考えるため、箱根ジオパーク(神奈川県)を会場に、「ジオパークが目指す持続可能性とESD」というテーマで開催されました。全国のジオパークから100名を超える参加者があり、講演の後、(A)ESDを知ろう!、(B)ESDをジオパークに活用してみよう!、(C)ESDと関わるジオパーク活動を構築しよう!の3グループに分かれて研修しました。伊藤靖子事務局員はBグループに参加し、ジオパークとESDの「つながり」さがしを課題に、箱根エリアをフィールドとして、グループワークを行いました。



(現地での研修の様子)

萩ジオパーク構想推進協議会では、教育・普及部会と「ジオな」教育推進委員会を中心に学校教育でのジオパークの活用を図っており、2月16日(金)に開催した部会でも、各校の単元で取り組めるところを共有しました。大地と人とのつながりを「知る」取り組みを進めてまいります。

お菓子なジオパークめぐり

石窯パン工房ブーランジェリーKuraのあんぱん
(Mine 秋吉台ジオパーク)

太古のサンゴ礁が生んだ美味しいパン

秋吉台は、約3.5億年前にはるか南の暖かい海にあったサンゴ礁が、プレートの動きで徐々に北上し、大陸に押しつけられてできました。サンゴ礁はその過程で石灰岩となりました。秋吉台周辺から湧き出る水は雨水が石灰岩を通ることでカルシウムなどを多く含んだ硬水です。パンを作る際に硬水を使うと酵母による発酵がより進むため、もちりとした美味しいパンを焼くことができるのです。



3月の予定

○萩・明倫学舎感謝祭『ジオ鍋お振る舞い』3月3日(土)・4日(日) 10:30~11:30 場所:萩・明倫学舎玄関前 内容:大地(ジオ)の恵みをふんだんに使った『ジオ鍋』を先着150名に無料提供 主催:萩・明倫学舎 問合せ:萩・明倫学舎(0838-21-2018)

○国際シンポジウム“カルスト台地の科学とジオパーク” ◆国際シンポジウム:3月9日(金) 9:00~17:00 ◆パネルディスカッション・ワークショップ:3月10日(土) 13:30~16:30 会場:秋芳ロイヤルホテル秋芳館(美祢市秋芳町秋吉1237-236) 参加費:無料 申込み:不要 主催:山口大学秋吉台アカデミックセンター、Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会 問合せ:Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局(0837-63-0055)

○日本一おもしろい火山体験ツアーin 笠山をみんなで作ろう 3月14日(水) 13:30~16:00 会場:笠山山頂展望台 内容:越ヶ浜・笠山を体験できるプログラムづくり 主催:萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ:萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)

○はぎジオカフェ 3月15日(木) 18:30~20:00 会場:萩ゲストハウス ruco(萩市唐樋町92)、参加費:200円(飲み物代は別途)、主催:萩ジオパーク構想推進協議会 申込み:前日までに萩市ジオパーク課(0838-21-7765) ※全国のジオパークからお菓子をお取り寄せ。どこのジオパークかは当日までヒミツ。

○Mine 秋吉台ジオパークカフェ(厚保地区) 3月24日(土) 13:30~15:30 会場:厚保交流ステーション(JR厚保駅) 内容:ジオカフェ(まちあるき・意見交換) 主催:Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会 申込み:Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局(0837-63-0055)